

過去の災害について

上矢作町では、過去に台風や集中豪雨などによる河川の氾濫・道路の決壊などの災害に見舞われ、一時的に孤立状態になった時もありました。

また、最近では、平成12年9月11日から12日にかけて、大きな被害をもたらした「恵南豪雨災害」が記憶に新しいところでもあります。

この災害は、上矢作町を中心とする恵南地方を記録的な豪雨が襲い、槍ヶ入雨量観測所では、降り始めからの総雨量が595mmにも達しました。そのため、河川では急激に水かさが増し、各所で大規模な護岸決壊や氾濫が発生しました。また、山の崩壊により、土砂と倒木が河川に大量に流出し、住宅、農地、道路、橋梁などに被害を与えました。



平成12年9月11～12日 犬間沢(上矢作町達原)被災状況

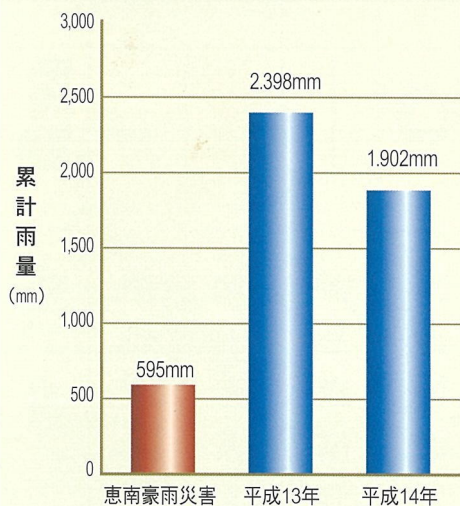


平成12年9月11～12日 井取洞(上矢作町小田子)被災状況



平成12年9月11～12日 黒洲谷(上矢作町下)被災状況

槍ヶ入雨量観測所
年間総雨量と恵南豪雨災害時総雨量
(H12.9.11～12)との比較



このグラフは、槍ヶ入雨量観測所において、平成13年と平成14年の年間総雨量と、恵南豪雨災害時（平成12年9月11日から12日）の2日間での総雨量と比較したものです。この2日間で、年間総雨量の約4分の1の雨が、集中的に降ったこととなります。